

加佐

学校だより 7月終業式号

令和元年7月19日

舞鶴市立加佐中学校

TEL 83-0004 FAX 83-3201

<http://kasa.maizuru.ed.jp/>



挑戦する力・つながる力

日に日に暑さが厳しくなりました。保護者・地域の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校教育活動にご理解・ご支援をいただきまして誠にありがとうございます。おかげさまで生徒たちは本日の終業式をもって、1学期を締めくくりました。2学期もよろしくお祈りいたします。

本日の終業式で生徒たちに話した内容から一部抜粋してご紹介します。

「学期末といえば気になるのが、やはり通知表です。毎日の学習の成果を数値で表しています。そこに将来の夢や展望に向けた日々の挑戦の様子が1学期の成果として十分に反映されていれば、とてもうれしいです。ところで、よりよく生きるために欠かせない『優しさや判断力・積極性・忍耐力、社会性・・・』などの客観的に数値化して表すことが難しい事項（『非認知能力』と呼ばれることもあります。）は、今の通知表の項目だけで全てを明らかにすることはできません。見えにくいけれど大切な、それぞれが確実に育てなくてはならない、これからの社会を生き抜く力です。明日からの夏休みを充実したものにして2学期に向けて家庭や地域でも継続して鍛えましょう。

一方、先生たちの通知表はといえば、今まさに目の前の君たちの成長です。特に、学力に関しては“生徒の通知表＝先生の通知表”とも言えます。君たちの数年後・数十年後の自立した社会人としての活躍や頑張りもそうです。大きな行事の多い2学期からも【チーム加佐中】としてますます元気に、力を合わせて頑張りましょう。」

ふるさと舞鶴 identity

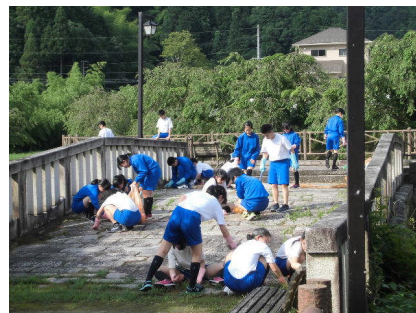
7月3日に2年生を対象に実施した「市長のふるさと舞鶴講義」では多々見市長より、ふるさと舞鶴の魅力や展望について解説していただきました。

事前の生徒アンケートでは、故郷に対する愛着が強く、将来的に舞鶴で社会に貢献したいという生徒の割合が91.3%で大変高く、就きたい仕事として農林業や家業を含めて具体的に回答しているところが大きな特徴でした。「かわいい子には旅をさせよ。」などといいますが、たとえ過酷な旅の途中でも、ふるさとへの愛情はあたたかい心の支えの一つになることでしょう。

生徒たちは、まだまだ知らなかった「ふるさと」の新たな側面について知り、驚いたり舞鶴ならではの価値に改めて気づき、将来への決意を新たにされた様子でした。

こころも水辺も美しく

7月4日には東京混声合唱団による素晴らしい公演を楽しみました。そして、みんなの心が一層豊かに清らかになったところで、保健委員会主催による「水辺公園の清掃」に全校生徒で取り組みました。旧岡田橋河川水辺公園の「旧岡田橋保存に至った経緯」によると橋は、明治期の貴重な石造りの「めがね橋」として歴史的価値の高い建造物であり、地元の方々の要望により保存が決定したと示されています。明治21年以降、あまたの先人が行き交った橋を、「令和」の子どもたちが守っています。



舞鶴市立加佐中学校 校長 福本 浩介 教職員一同